

海岸公園（藤塚地区）基本計画案に対する 意見の概要と本市の考え方について

○意見の概要と本市の考え方

※文中に記載のあるページ番号は、基本計画案のページ番号です。

1. 公園施設の整備に関する意見（38件）

No.	意見の概要	本市の考え方
1	親子で楽しめる屋内型の遊び場を作ってほしい。 (他、同様の意見6件)	全天候型遊び場に対するご意見につきましては、今後民間事業者へのサウンディング調査を経て導入施設を決定していく際の参考とさせていただきます。
2	全天候型遊び場は、他県にあるような3階から2階へ滑り台があるダイナミックな施設にしてほしい。 (他、同様の意見2件)	
3	全天候型遊び場について、あまり広すぎると親の目が届かなくなる恐れがあるので、親の目が届く範囲で遊べる仕掛けが望ましい。合わせて1、2歳児が転んでも怪我しないような柔らかいクッション性の床であれば、親子揃って楽しめる安全で賑やかなスペースとなるだろう。	
4	貞山堀沿いにカフェや食事ができる施設、芋煮会ができる場、また防災林には乗馬やアスレチックを林の中に作るなどして、人が集まる公園になれば、沿岸部の活性化に繋がると思う。	より多くの方が公園を訪れ、沿岸部の活性化につながるよう、参考とさせていただきます。
5	子どもたちが水遊びをして汚れることが想定されるので、遊び場と駐車場等との間に、水で流して着替えなどができる水洗い場があると良い。	水洗い場等の設置につきましては、今後の設計業務の中で検討して参ります。
6	公園を眺めながら入れる足湯や、風を避けられる屋根付きのベンチ、砂埃を防止する人工芝など、保護者に配慮した設計にしてほしい。	風が強い海沿いの環境を踏まえたベンチや芝生等の整備を行うなど、保護者の方が利用しやすい公園となるよう検討して参ります。
7	夏の暑いときに休める場所が少ない。四阿や、木陰になる木の下でのベンチ・テーブル等があると高齢者や子連れには良い。	四阿やベンチ等の設置については、今後の設計業務の中で検討して参ります。
8	みやぎ応援ポケモンのラプラスを公園に整備すれば、子ども達に喜んでもらえるのでは。 (他、同様の意見6件)	みやぎ応援ポケモンの導入につきましては、にぎわい創出のアイデアとして今後の参考とさせていただきます。

9	<p>遊具を設置してほしい。(海をイメージできるもの、0～2歳用、高学年向けの木製遊具等)</p> <p>(他、同様の意見2件)</p>	<p>屋外遊具の設置につきましては、にぎわい創出のアイデアとして今後の参考とさせていただきます。</p>
10	<p>ローラースケートやスケートボード、BMX、ボルダリングといったオリンピックで注目された競技が出来る施設があると嬉しい。</p> <p>(他、同様の意見1件)</p>	<p>ローラースケート等の競技施設の設置につきましては、にぎわい創出のアイデアとして今後の参考とさせていただきます。</p>
11	<p>動物との触れ合いや交流のため、ドッグランを整備してほしい。</p> <p>(他、同様の意見2件)</p>	<p>ドッグランの整備につきましては、にぎわい創出のアイデアとして今後の参考とさせていただきます。</p>
12	<p>SUPや水上スキーなどのマリンレジャーを楽しむ施設が貞山運河に充実すると嬉しい。</p>	<p>水辺交流ゾーンに整備予定の親水護岸等につきましては、貞山運河でのSUPやカヌー等の利用を想定し、今後詳細を検討して参ります。</p>
13	<p>海が荒く浜辺で遊ぶことが難しいため、ウォーターパークを設置してほしい。</p>	<p>ウォーターパークの設置につきましては、にぎわい創出のアイデアとして今後の参考とさせていただきます。</p>
14	<p>車いすの方も利用できるよう、バリアフリーで手すりなどが設置されていると良い。</p>	<p>全ての方に配慮した施設となるよう、バリアフリー等につきましても今後の設計業務の中で検討して参ります。</p>
15	<p>近隣の住人が利用するだけでなく、宿泊と絡めてインバウンドのように生活圏外から人が来る思い切った場所にできないか。震災で激甚な被害の出た場所だからこそ、場の持つ力を対外的に発信するために、観光的視点も踏まえた方がよい。グランピング施設やコンテナハウスなどを利用して、宿泊コースが検討できないか。</p> <p>(他、同様の意見3件)</p>	<p>宿泊施設の設置につきましては、現在想定しておりませんが、今後の参考とさせていただきます。なお、公園整備につきましては観光的視点を持った対外的な発信等を今後検討して参ります。</p>
16	<p>今後、想定以上の高さの津波が来ることも考えられるので、新たに造成する避難の丘は十分な高さのものとするべき。</p>	<p>新設する避難の丘につきましては、宮城県の津波浸水想定を踏まえ、十分な高さを確保できるよう、今後の設計業務の中で検討して参ります。</p>

2. 公園の管理運営に関する意見（2件）

No.	意見の概要	本市の考え方
17	花畑について、企業スポンサーを募って通年楽しめるようにしてほしい。メンテナンスはボランティアの方々に呼びかけ、モチベーションがキープするためにも「ここは市民ボランティアが手入れしています」といった表示をしてはどうか。	花畑の運営方法につきましては、今後の参考とさせていただきます。
18	オープンカフェについて、仙台には数多くの魅力的なカフェがあるので、是非実現してほしい。家賃が高いと若い人たちは入居できないため、若いオーナーたちへ活躍の場が与えられるよう工夫してほしい。	オープンカフェの運営につきましては、今後の参考とさせていただきます。

3. その他の意見（9件）

No.	意見の概要	本市の考え方
19	仙台にもっと賑わいのある場所を、中心部だけでなく作ってほしい。被災した場所であるため、再び賑わいを取り戻し自然と戯れ、宮城の歴史、震災のことを継承できるスポットは必要。	藤塚地区においては、基本計画に定める3つの基本方針に則り、自然とふれあい、震災の記憶を伝承し、新たなにぎわいを生む公園整備を進めて参ります。
20	藤塚地区と名取市を含む周辺地域が隣接して事業を行った場合、にぎわいが1か所に集中し、沿岸部の他地区でデイキャンプ場などの似通った事業を行っている企業にとっては大きな問題になる。沿岸部の他地区での跡地利活用事業者が悪影響がないよう、公園整備計画と東部沿岸地域全体の整備の整合を図ってほしい。 (他、同様の意見2件)	民間事業者による全天候型遊び場や貞山運河までの移動手段、拠点施設、オープンカフェの整備につきましては、確定したのではなく、今後民間事業者の意向も聴取しながら内容を精査していく予定であり、関係部局とも連携しながら、東部沿岸地域全体のにぎわい創出につながるよう検討して参ります。 本計画においては、14～17ページの文末を「～を整備します」から「～の整備を検討します」に修正します。デイキャンプ場につきましては、海岸公園（井土地区）に整備済みであり、跡地利活用事業でも類似施設を整備予定であることから、本計画からは削除します。
21	井土浜までのバス路線を藤塚地区までつなげれば、車を持たない若い方や子育て主婦、周辺施設従業者の交通手段の選択肢が増え、負担が減るのではないかと。	公園までの交通手段の確保につきましては、予定されている東部エリアでの実証実験の結果も踏まえ、関係部局と情報共有を図って参ります。

22	<p>隣接する民間施設の中央を公園利用の自動車が通過するのは危険。民間施設を迂回する道路を拡幅し、公園のメインアクセス道路とすべき。</p>	<p>公園までのアクセス路につきましては、現在の道路状況を踏まえ、今後検討して参ります。</p>
23	<p>渡し舟の運行をしてほしい。閑上の施設も気軽に利用できるようなれば、お互いのメリットは大きいのでは。 (他、同様の意見 1 件)</p>	<p>舟運事業の詳細につきましては、今後も引き続き検討して参ります。</p>
24	<p>災害危険区域の中の目的地として、遠くからの目印になるようにバルーンを活用してほしい。</p>	<p>いただいた意見に関しましては、今後の参考とさせていただきます。</p>